

DC型露点計 DC-DP



注: 本体及びパージ配管以外はオプションです

DC型露点計とは…

気体中に含まれる水分(水蒸気)は、いろいろな産業の分野において、弊害を引き起こしたり、大きな障害になっていることは既によく知られているところです。

例えば空気 1m³ の中には、夏季で約 30g、冬季でも約 7g の水分が含まれています。その為、腐食・腐敗氷結などの現象や有害な化学反応を起こす原因ともなります。

このような場合は、必要に応じて脱水分又は脱湿度を行うことが要求されますが、含有水量がどの程度かを測定することがまず不可欠となります。

気体中の含有水量をその気体の液化から求めるのが DC 型空気露点検測器で、その進化系が DC 型露点計です。

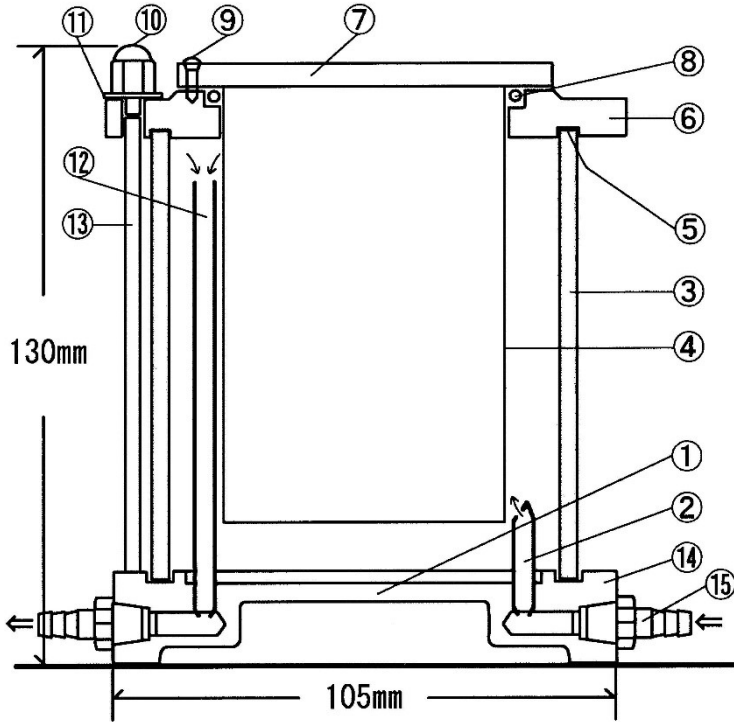
シンプルな構造で操作方法も大変簡単です。原理に忠実で、実際に目で見て確認しますので信頼性があります。

◆型式 DC-DP (スウェージロック接続)

- ◆特長
1. 操作方法がきわめて簡単。
 2. 検測範囲が非常に広い。
 3. お求め易い廉価タイプ。
 4. 収納箱入り携帯に便利。

- ◆仕様
1. 使用圧力 : 0.1~0.3MPa
 2. 使用流体 : 空気、窒素
 3. 使用温度 : -70~+50℃
 4. スウェージロック接続 : 1/4" , 6mm

◆外形図



◆構成部品表

No.	名称	数量
15	スウェーじロック	1
14	パッキン	2
13	ステーボルト	3
12	導管	1
11	座金	3
10	ふくろナット	3
9	丸皿頭ビス	4
8	丸パッキン	1
7	冷却筒受	1
6	筒受	1
5	パッキン	2
4	冷却筒	1
3	筒	1
2	ノズル	1
1	筒受	1

◆操作説明

- 測定気体をテフロンチューブを通して 3L/min 下部の入り口ノズルから流します。流量は大変重要です。規定流量以外では、誤差が出ます。
- 冷却筒に無水エタノールを3分目まで入れます。
- 投入した無水エタノールにドライアイスの粉を徐々に投入しながら温度計・スターラー等で攪拌します。
- ガラス筒を通して中の冷却筒の表面をよく観察しながらなおドライアイスの投入を続けると、やがて冷却筒の表面に露がつきます。そこで投入を止めます。
- 露が着いても、攪拌を続けると、温度計は下がり続けます。下がり止まった時の温度を読み取ります。(T1 とします)
- なお攪拌を続けると、温度は上昇に転じ、露は消え始めます。完全に露が消えた時の温度を読み取ります。(T2 とします)
- T1 と T2 の平均値をその気体の露点とします。
- 以上の操作を 3 回実施し、その平均値をとります。
- 露点分かれば右の空気線図からその気体の含有水量が求められます。

◆飽和湿り空気線図

(露点温度と含有水量の関係表)

